

一般社団法人日本臨床検査専門医会 2022年度 第8回理事会議事録

開催日時：2023年3月4日（土曜日）15時00分～16時30分

場 所：ZOOM会議

出席者：〆谷直人理事長，山田俊幸副理事長，東田修二（庶務担当），増田亜希子（会計担当），菊池春人，横崎典哉，松下一之，田部陽子 各常任理事
藤井聡，植木重治，浅井さとみ，山田鉄也，尾崎敬，北中 明 各理事
千葉泰彦 選挙管理委員会委員長，木村聡年次大会長
古川泰司，東條尚子 各監事

欠席者：五十嵐岳 常任理事，橋口照人 理事

事務局：市川綾子，大和田有美子

Web会議システムにより，全出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，的確な意見表明ができることが確認されたため，定刻，〆谷理事長が開会を告げ，〆谷理事長が議長となり，開会を宣し，議事に入った。

<報告事項>

1. 選挙管理委員会報告

選挙管理委員会千葉委員長より，今年度実施の理事候補選挙，監事候補選挙の結果について資料の通り説明があった。12月17日に第3回選挙管理委員会を開催した。候補者は理事10名，監事1名で規定の定数を超えなかったため，選挙は実施しなかったこと，各候補者の氏名はHPで掲載済であること，所信表明はすでに会員宛て発送済であることなどが報告された。

〆谷理事長より，次期理事長については理事候補者10名の互選となり，現在日程調整を進めている旨，補足があった。

2. 2023年度第2回年次大会について

木村聡次期大会長より，次年度の年次大会の準備状況について報告があった。

資料として添付の通り，演者や座長はすでに，依頼済み。テーマは「キャッチアップ！ 遺伝子検査」とし，遺伝子についてわかりやすく学んでもらおうという趣旨が説明された。

1日目は例年通り生涯教育講演会を開催予定，2講演で，専門医機構共通講習「地域医療」「医療制度と法律」の各1単位ずつの申請を予定している。2日目は，遺伝子検査の基本から始まり，現況，実践などを各専門の先生方による講演を予定，各講演共領域講習の単位申請の準備を進めている。また，学会放送によるオンデマンド配信準備中。その他，相談事項については，後の審議事項の時間にあらためて提案する旨発言があった。

〆谷理事長より検査医学会特別例会会長古川監事，神奈川検査医学会会長の千葉選挙管理委員会委員長に年次大会ポスター掲示の依頼があった。

2. 各種委員会報告

1) 情報・出版委員会

福地委員長により、資料に基づき JACLaP NEWS, Lab CP, JACLaP WIRE, 「要覧」にの既刊分,まもなく発行の分について報告があった。NEWS に連載している「提言」について,原稿の収集が困難なことがあるため,協力をお願いしたい旨発言があった。日本衛生所協会 協会誌「ラボ」の専門医会担当ページは資料の通り,今年度分は順調に掲載が進んでいること, また, すでに立案済みの来年度分について説明があった。

2) 教育研修委員会

田部委員長より、資料に基づき、前回理事会以降の活動としてまず,日本臨床検査医学会学術誌集会における共済シンポジウムについて報告があった。次に 2023 年度の活動予定として 6 月の第 2 回年次大会における生涯教育講演会,5 月に WEB 開催(オンデマンド配信)を予定している教育セミナーの準備状況について報告があった。教育セミナーについて,今年度は 2 名の委員が積極的に関わっていること,講師についても前年度から 2 名変更があったことなど,新しい形を取り入れながら準備を進めているとの報告があった。その理由として,オンデマンド配信開催のため,内容が少しずつ変わるよう工夫をしていきたいと説明があった。また,資料の募集要項を示し,今年度の大きな変更としてオンデマンド配信の利点を生かし,できるだけ多くの方に参加していただけるよう募集範囲を広げたこと,さらに,基本的に会員限定としているため,新入会者増の契機としたい旨説明があった。

3) 資格審査規定改定委員会

菊池委員長より、資料に基づき、前回以降 4 名の入会審査を委員会で承認し,理事長に承認依頼をした旨報告があった。ㄨ谷理事長より入会承認しました,との報告があった。

4) 渉外委員会

横崎委員長より資料に沿って,7 月開催予定の振興セミナーについて説明があった。今年度は 2 週間ほどのオンデマンド配信の形で開催する。講演は 2 つで,講演 1 は企業の方に講演を依頼するが COI などを管理の上領域講習会として単位申請予定,講演 2 は医学会倫理委員会外部委員に講演依頼をし,共通講習「医療倫理」の単位申請予定との説明があった。共通講習を申請するにあたり,医学会への共催依頼が必要という認識があり,その点について確認があった。ㄨ谷理事長より,医学会担当者に相談の上進めるよう発言があり,横崎委員長も同意した。なお,理事長・副理事長による挨拶を各 5 分程度プログラムに入れる。ただし,今年度は 6 月社員総会後に役員が決まるため,役職のみでの案内とし,決定後事務局と予定すり合わせの上,録画をとるという進め方について依頼があった。山田副理事長より,共通講習の申請方法について.主たる申請者を日本臨床検査医学会とするよう補足があり,横崎委員長も了承した。なお,年次大会における共通講習の申請も同じ手続きが必要である旨,ㄨ谷理事長から,木村

大会長へ確認があり、木村会長も了承した。メ谷理事長よりこれらを予め医学会へ話しておくとの発言があった。

5) 保険点数委員会

松下委員長より資料に沿って、4月の初旬に提案する令和6年度診療報酬改定について説明があった。現在までに臨床検査医学会、臨床検査振興協議会と議論を進めているが、最終的に要望をまとめ調整した。資料にはないが、現在微生物検査項目が9、血液型検査要望が3、その他、血液採取取・血小板凝集能の4項目を優先して要望するという旨報告があり、特に補足意見もなかったため、報告を終了した。

6) 広報・ネットワーク委員会

五十嵐委員長に代わり東田庶務担当常任理事より資料に沿って、報告があった。レジデントノート部門、ネットワーク BBS 部門、イベント部門の3体制でそれぞれ、活動をしている。各部門の主な活動は資料に記載されている通り、「検査の Tips」連載、「専門医会ネットワーク BBS」運用開始、「11月11日記念日つなぎ委員会」企画運営である。また新たな連載についても企画されている旨、活動報告として示された。

<審議事項>

1. 2023年度行事予定について

議長より東田庶務担当常任理事に説明を求めた。東田庶務担当常任理事は資料に沿ってまずは5月の第1回理事会の主な議題が決算承認と定時社員総会招集である旨が説明され、開催日、開催方法につき参加理事に相談したところ、開催日は5月13日か27日、開催方法はZOOMとして調整することとなった。また、年次大会時の定時社員総会と新理事会、新役員体制の紹介について案がだされた。その他は例年に倣った行事が活動予定として示され、議長が議事を諮ったところ満場異議無く承認された。

2. 2023年度予算案について

議長より増田会計担当常任理事に説明を求めた。増田会計担当常任理事より資料に沿って収支予算について特筆すべき項目について説明があった。基本的には、2022年度実績に基づいて作成されている。一部、人件費、要覧作成、ネットワーク BBS 等、今年度特別に計上された経費については、過年度を参考としている。議長が議事を諮ったところ、会議の対面開催が始まることを想定すると会議費予算が不足している点、年次大会の予算の反映、税金計上の記載方法について指摘が上がったため修正を入れ、再度理事会に諮ることとした。また、年次大会会計を取り込んでいる点につき質問があったが、東田元庶務会計担当ならびに増田会計担当より法人化して法的制約があること、本会の規模では特別会計としないことで会計事務委託費の削減が図れていることなどの説明があった。

3. 第2回年次大会検討事項について

議長より木村大会長に説明を求めた。木村会長より、参加費の金額について金額の決定についての裁量が会長にあるか、確認があり、メ谷理事長よりその通りであると発言があった。また、懇親会についても相談があったが、メ谷理事長より他学会でも懇親会は開催され始めていること、5月8日からはコロナも5類相当になることなどから、懇親会開催も問題ないのではないかとの発言があった。以上のやりとりをふまえ、木村会長により参加費について実情に合わせて見直したい旨、懇親会の準備を進めたい旨の発言があり、議長が議事に諮ったところ満場異議無く承認された。

その他、議案事項につき議長が参加理事に追加の発言がないか諮ったところ特に意見が出ず、以上をもって議事・報告の全てを終了した。議長は閉会を宣した。

藤井理事が所用により途中退出した以外参加者全員、通信が途切れることもなく、閉会までつつがなく議事が進行された。

以上、議事・報告事項について本議事録を作成し、出席理事長及び出席監事は次に記名押印する。

2023年 5月 29日

理事長 メ谷 直人

2023年 5月 31日

監事 古川 泰司

2023年 6月 1日

監事 東條 尚子

1. 次期理事候補、監事候補の選挙結果について

選挙管理委員会 委員長 千葉泰彦

2022年12月17日に第3回選挙管理委員会を開催した。
選挙理事10名、監事1名の立候補があり、選出予定数以内であったことから、すべての立候補者が選挙理事候補者ならびに監事候補者となることを確認した。
専門医会のホームページに候補者氏名を掲載した。また、選挙理事候補者の所信表明を全会員へ郵送した。

選挙理事候補者 10名(五十音順:敬称略)

尾崎敬、
鯉渕晴美、
幸村近、
×谷直人、
田部陽子、
福地邦彦、
増田亜希子、
松下一之、
村上正巳、
山田俊幸

監事候補者 1名(敬称略)

菊池春人

以上

日本臨床検査専門医会 第2回年次大会

プログラム

テーマ：Catch up! 遺伝子検査

資料2

第1日		2023年6月23日(金)
13:00～	受付開始	昭和大会上條記念館
12:30～13:20	第2回理事会	
13:30～13:55	開会	
13:30～13:45	理事長挨拶	日本臨床検査専門医会 理事長 谷 直人
13:45～13:55	会長挨拶	日本臨床検査専門医会第2回年次大会 会長 木村 聡
14:00～16:15	臨床検査専門医会 生涯教育講演会 (共催：日本臨床検査医学会) 検体検査の現状の課題と今後の展望	座長 順天堂大学医学部 臨床検査医学 田部 陽子
14:00～15:05	1. 地域中核病院での臨床検査専門医の役割 その可能性と責務	※本企画は、日本専門医機構認定、基本領域 臨床検査専門医更新のための共通講習：地域医療1単位申請中 聖隷浜松病院臨床検査科 米川 修
15:10～16:15	2. 検体検査をめぐる医療制度：法律とその問題点	※本企画は、日本専門医機構認定、基本領域 臨床検査専門医更新のための共通講習：医療制度と法律1単位申請中 元日本臨床検査専門医会会長・明和病院 佐守 友博
16:20～17:00	2023年度定時社員総会/第3回理事会	
17:30～	懇親会	未定
	二次会	未定
第2日		2023年6月24日(土)
8:30～	受付開始	昭和大会上條記念館
9:00～15:00	特別企画 「Catch up! 遺伝子検査」	
9:00～10:00	「遺伝子検査の基礎知識」	※本企画は、日本専門医機構認定、基本領域 臨床検査専門医更新のための臨床検査領域講習1単位申請予定 座長 東京大学医学部附属病院検査部 西川 真子
	a. 「遺伝子検査とその働きから遺伝子関連検査を考える」 ～物理・化学で医学部に入られた先生方にもわかるように～	浜松医科大学医学部臨床検査医学 岩泉 守哉
	b. 特別発言：遺伝子検査の基礎知識 ～種類と手順の理解のツボ～	東京大学医学部附属病院検査部 西川 真子
10:05～12:05	「遺伝子検査の実際」	※本企画は、日本専門医機構認定、基本領域 臨床検査専門医更新のための臨床検査領域講習2単位申請予定 座長 日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野 中山 智祥 熊本大学大学院生命科学研究部臨床病態解析学講座 松井 啓隆
	a. 感染症検査への応用と注意点	慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室 上養 義典
	b. i)心電図と遺伝学的検査 (QT延長症候群など)	順天堂大学浦安病院臨床検査医学科 藍 智彦
	ii)血液検査と遺伝学的検査 (AI欠損症、PS欠損症など)	済生会中央病院臨床検査医学科 窓岩 清治
	c. 体細胞遺伝子検査～がんゲノム医療の実際と今後の展望	東京大学医学部附属病院検査部 渡邊 広祐
12:10～13:10	ランチョンセミナー	座長 東京大学大学院医学系研究科 内科学専攻 病態診断医学講座臨床病態検査医学分野 矢富 裕 肺癌の遺伝子検査 自治医科大学 呼吸器内科学部門 萩原 弘一
13:15～14:15	「臨床検査医に期待される役割と展望 (標準化に向けた動き、2次所見の扱いを含めて)」	※本企画は、日本専門医機構認定、基本領域 臨床検査専門医更新のための臨床検査領域講習1単位申請予定 座長 順天堂大学医学部 臨床検査医学 田部 陽子 千葉大学医学部附属病院検査部・臨床検査科(兼)遺伝子診療部/がんゲノムセンター/超音波センター 松下 一之
14:20～15:20	病理学領域における遺伝子検査の品質管理の現状と将来展望(仮題)	※本企画は、日本専門医機構認定、基本領域 臨床検査専門医更新のための臨床検査領域講習1単位申請予定 演者 弘前大学医学部病理生命科学講座 鬼島 宏 座長
15:25～15:30	次期会長 挨拶	
15:35～15:40	閉会の辞	木村 聡

2023 検査専門医会年次大会

第 1 回 準備会議 2023.2.24 on line

出席予定者

昭和大学:木村・安原准教授・新井技師長

東海大学:浅井先生

事務局:専門医会大和田・市川

I. 今回開催の狙い「Catch up! 遺伝子検査」

- ・専門医資格取得、更新のため臨床検査領域、共通領域の講習会を開催
- ・発展著しい遺伝子検査に関する知識習得と点検
- ・会員の親睦と結束強化

II. 報告事項

開催概要

期日:2023年6月23日(金)12時半~24日(土)15時半

会場:昭和大学上條記念館 https://90th-showa.jp/kamijo_memorial_hall/

準備状況

1) 昭和大学上條記念館(メイン会場は4階、事務控室は3階)

- ① 赤松 A 収容人数 144 名 メイン会場
- ② 山法師 18 人 理事会・大会事務局
- ③ 山吹 12 人 クローク
- ④ 山萩 4 人 講師・座長準備室 または資材置き場

室料 70.4+10.5+7.0+3.5 = 91.4 万円 (職員割引適用後)

2日目に薬理関係の学会が並行開催されており明示が必要

2) プログラム策定→プログラム案作成済

3) 講師および座長の依頼(ご内諾済み)

4) 抄録原稿依頼、COI 開示依頼→各講師にメール(依頼済)

5) 受付人員の手配

- ① 人数(初日、2日目)
 1. 受付、集金、出席証明交付、タイムキーパー
 2. 総合司会

3. 演者の水の取り替え、謝礼(クオカード)配布
 4. 座長の水の取り替え、謝礼(クオカード)配布
 - ② 受付責任者←事務局で分担
 - ③ 接遇(VIP 対応)←浅井先生
 - ④ 会場の音響、スライド、照明、マイク←安原先生・江原先生
 - ⑤ クローク対応(3名)
 - ⑥ お弁当手配←上条記念館に取り扱い可能業者を要確認
 - ⑦ 部屋入り口に用途を貼る
 - ⑧ ドリンクコーナー(入り口に並べる)←簡易なものを設置するか検討
自動販売機で対応可?
 - ⑨ PC 受付(専門担当者必要)←候補あり、23 日に対応できるか要確認
- 6) ポスター、チラシの作成
デザインは完了、800 枚印刷予定 大型ポスターは 50 枚ほど
- 7) 抄録集・ネームカードの作成・・・八木書店様
- 8) 出席証明書(半分切って回収)の作成
- 9) On demand 配信の録画、配信の手配、出席の確認方法
↑学会放送よりログイン情報と 100%視聴済情報をエクセルでもらい、
共通講習においては、テストをグーグルフォームで事務局より配信
80%正答者に受講証ダウンロード用 URL を配信
領域講習においては、受講証ダウンロード用 URL を配信
その旨を抄録に明記する。
- 10) 寄付金依頼と現在の状況
2022 年中に有力企業約 20 社に趣意書を発送
目標額: 広告 80 万、ランチョンセミナー30 万、寄付 30 万 合計 140 万
↑現在の申し込み状況
広告 50 万、ランチョンセミナー30 万、寄付 50 万 合計 130 万
(寄付以外、税込価格で募集のため、実質138万入金予定)

III. 審議事項

これからやらねばならないこと、ご同意いただきたいこと

0) 参加登録料について ***のちほど、審議事項で提案**

- ① 生涯教育講習 2000 円
- ② 講演会 5000 円

(合わせて一律 7000 円としたい・・・名誉会員から苦情が来るおそれ)

↑開催地の関係もあり、参加費は昨年 3000 円から 5000 円としても
よいのではないか

非会員と会員の参加費に差をつけたほうがよいのではないかと、特に、2日目の演題は遺伝子の基礎的な話を聞くことができるため、賛助会員に向けて、1社1名までは無料、それ以上は会員と同じ費用で参加可能など、賛助会員特典としてアピールしてもよいのではないかなどの意見がでており、理事会に相談事項とする

1) オンデマンド業者の選定・・・hybrid開催は費用かかるため後日オンデマンドのみ

↑学会放送が担当、3行事共通部分は本部費用、案分可能なものは大会費用

2) 会員へのご案内

① JACLaP NEWS 次号にプログラムを掲載、チラシを挟み込む

↑3月初めにチラシが八木書店に届くため、同封可能
LabCP,要覧など、先に配送が決まったものに同封

② 同 WIRE にも掲載依頼(4月中)

③ ポスターと開催概要を専門医会 HP に掲載(3月中)

↑この時点で事前参加受付開始日を告知
4月10日から事前参加申し込み(Google フォーム使用)開始予定
業者は使わないため、参加費はクレジットカード不可、大会口座への振込みのみとする
入金確認が必要となるため、1週間ほど前で事前参加受付は終了以降は当日現地参加のみ受付

④ 開催10日前を目処に学会から開催案内を一斉配信

3) 講習会の単位認定

① 生涯教育講演会・・・医療制度と法律、地域医療、または医療倫理

↑計2単位申請予定 医学会に共催依頼

② 臨床検査領域講習

↑計5単位申請予定

単位にするには1時間区切りのプログラムにする

4) 1ヶ月前の準備

- ・ 講師の宿、食事手配
- ・ 地元観光案内など・・・旗の台、戸越銀座、武蔵小山商店街のマップ

↑ホームページにリンクを貼るなどの手配

- ・ 現場視察
- ・ 懇親会の手配・・・費用別立て(会場内では 5000 円プラス飲料)、お弁当形式が妥当？

*** のちほど、審議事項で提案**

↑ 理事会にも相談し、開催については 4 月以降、状況を見て決定
何か所か、候補をあたっておく

5) 前日～当日の準備

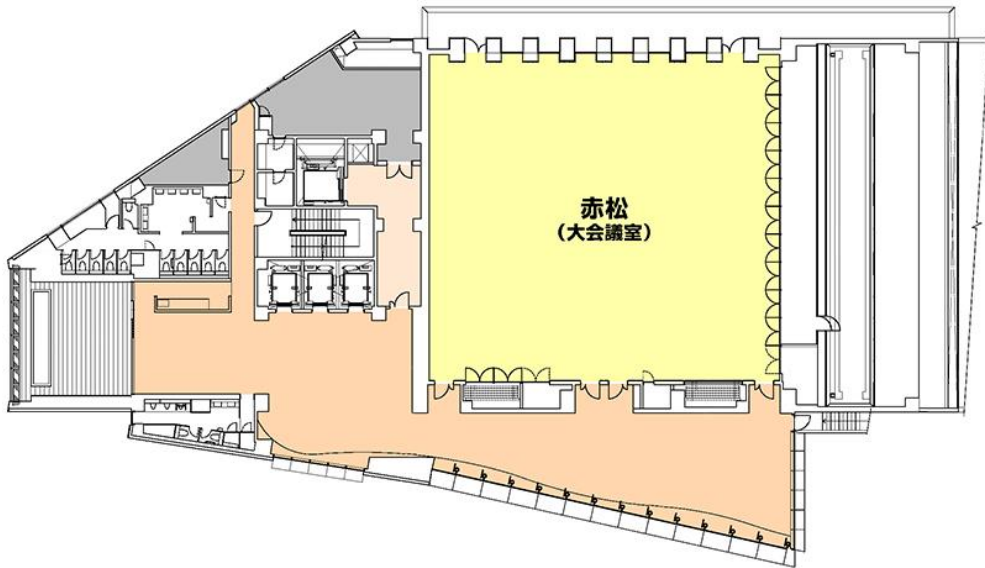
- ・会場の案内張り紙
 - ・受付手順の確認
 - ・旗の台駅から会場までの案内(最低 2 箇所が必要)
 - ・入り口に学会名を記載(費用 2 万円)
- ↑ 特に 2 日目に同じ会場を使う学会と区別をつけるためにも必要

上條記念館お部屋の配置図

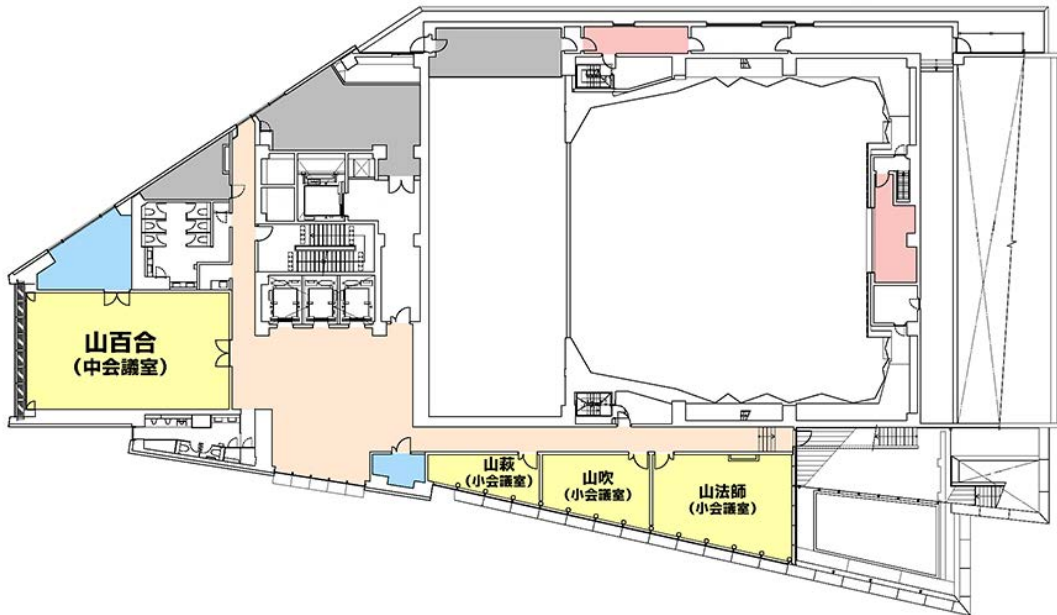
4 階の半分と 3 階の小部屋 3 つを使用します



4階 赤松ホール



3階 控室・山法師、クローク・山吹、講師待機室・山萩



日本臨床検査専門医会 第2回年次大会

Catch up! 遺伝子検査

2023年

6月23日(金)~24日(土)

昭和大学上條記念館

※「上條講堂」ではなく新築の
「上條記念館」ですのでご注意ください。

東京都品川区旗の台1丁目1番地20

TEL 03-3864-0804

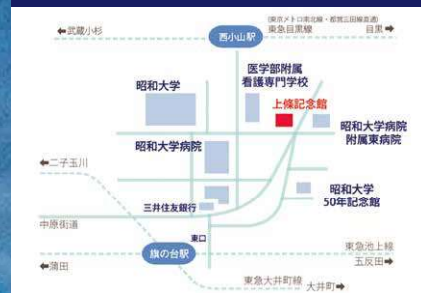
(専門医会事務局)

MAIL senmon-i@jaclap.org

URL <https://jaclap.org>



MAP



大会長

木村 聡 (昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科 教授)

日本臨床検査専門医会 情報出版委員会活動報告 2022年3月4日

報告担当 福地邦彦 (昭和医療技術専門学校)

五十嵐岳 (聖マリアンナ医科大学)、出居真由美 (順天堂大学)、井上暢子 (広島大学)、後藤和人 (東海大学)、信岡祐彦 (聖マリアンナ医科大学)、盛田俊介 (東邦大学)、吉田博 (東京慈恵会医科大学)

1. JACLaP News 編集主幹 後藤 和人 副主幹 五十嵐 岳・井上暢子

① 144号 準備中 2023年2月 **発刊予定**

巻頭言 木村聡 (昭和大学) 先生

「臨床検査医学への提言」 賀来満夫 先生

④ 「臨床検査医学への提言」を検査専門医会ホームページに掲載開始した。トップページからリンク初回からの執筆者

138号 第1回 登 勉先生

139号 第2回 佐守友博先生

140号 第3回 熊坂一成先生

141号 第4回 本田孝行先生

142号 第5回 櫻林郁之介先生

143号 第6回 濱崎直孝先生。

- 日本臨床検査専門医会の会員が主催する広く臨床検査 (微生物関連も含めての) 関連学会・研究会・講習会情報の案内の掲載を予定する。掲載希望の先生は、編集主幹の後藤まで連絡ください。
- 「次世代の臨床検査専門医」として、2022年新入会員の4名の先生に執筆頂き、143号より掲載開始した。

JACLaP NEWS のホームページ掲載について(運用方法の変更)

会員に JACLaP NEWS 発送後に、事務局より最終稿を舞来人に送付し掲載を依頼する。143号までホームページに掲載済み。

積極的に JACLaP NEWS を有効利用していただき、紙面の充実を図る予定です。ぜひ、事務局ないしは編集主幹まで連絡ください。

2. LabCP 担当 信岡祐彦

【Lab CP 39 巻 (2021) ・ 40(2022)合併号】 発刊済

【Lab CP40 巻 (2022年) 2号】

1. 臨床検査専門医会 生涯教育講演会 (日本臨床検査医学会共催)

- 1) 医療安全における医療チームのかたち(抄録) 辰巳陽一
- 2) 患者安全の全体像(抄録) 長尾能雅

2. 教育講演

- 1) 地域共生社会における在宅医療と臨床検査医学 ～デジタルバイオマーカーの話題を含めて

小谷和彦

2) 共用基準範囲の誕生と今後の展望(抄録) 康東天

3. 臨床検査専門医 Catch up シンポジウム 1

1) 凝固カスケード反応の本質に迫る！ 凝固波形解析 涌井昌俊

2) ペプチドームは次世代バイオマーカーに成り得るか？ 荒木慶彦

4. 臨床検査専門医 Catch up シンポジウム 2

1) 質量分析計を用いた生理活性脂質の臨床検査への導入を目指して蔵野信、矢富裕

2) COVID-19 のバイオマーカー (抄録) 山口宗一

【Lab CP41 巻 (2023 年) 1 号】 以降の予定

1 号 : 第 69 回学術集会 (2022 年 11 月開催)

シンポジウム 7 地域社会を広げる臨床検査専門医の多様性

(日本臨床検査専門医会共催)

2 号 : 2023 年度第 2 回年次大会 (2023.6.23 開催) 内容

LabCP メディカルオンラインに最新号まで掲載されます。

3. 日本衛生検査所協会 協会誌 「ラボ」 専門医のページ 担当 出居真由美

衛生検査所協会のホームページからアクセスでき、検索ヒット回数も多くなっています。

引き続きよろしくお願いいたします。

2021-2022 年度 大タイトル「専門医が解説する病気の検査」

各回のタイトルと執筆担当者

1	2021.4	大腸がんのスクリーニング検査	五十嵐岳	発刊済
2	2021.5	膀胱炎	福地邦彦	発刊済
3	2021.6	熱中症	三宅一徳	発刊済
4	2021.7	狭心症・心筋梗塞	盛田俊介	発刊済
5	2021.8	不整脈 (期外収縮・心房細動)	信岡祐彦	発刊済
6	2021.9	心不全	赤坂和美	発刊済
7	2021.10	胆石症	後藤和人	発刊済
8	2021.11	感染症の検査：インフルエンザ	三宅紀子	発刊済
9	2021.12	骨粗鬆症	出居真由美	発刊済
10	2022.1	メタボリック症候群	吉田 博	発刊済
11	2022.2	喘息と呼吸機能検査	堀内裕紀	発刊済
12	2022.3	貧血	一色美和	発刊済

13	2022.4	慢性腎臓病	岩津好隆	発刊済
14	2022.5	甲状腺の病気（バセドウ病・橋本病）	平山 哲	発刊済
15	2022.6	ウイルス性肝炎（B型肝炎、C型肝炎）	後藤和人	発刊済
16	2022.7	感染症の検査：HIV	田部陽子	発刊済
17	2022.8	リウマチ	三枝 淳	発刊済
18	2022.9	市中肺炎	松本 剛	発刊済
19	2022.10	感染症の検査：ノロウイルス	福地邦彦	発刊済
20	2022.11	糖尿病	吉田 博	発刊済
21	2022.12	脂質異常症	三井田孝 → 平山 哲	変更 発刊済
22	2023.1	脂肪肝	出居真由美	発刊済
23	2023.2	痛風	佐藤尚武	発刊済
24	2023.3	感染症の検査：ヘリコバクターピロリ	五十嵐岳	

2023~2024 年度 大タイトル 「専門医が教える 見逃せない検査異常」

一般の人に、検査の意義を幅広く知って頂くため、検査の説明、異常値の意味するところ、見逃してはいけない検査異常（パニック値など）を記載する

現在の時点での執筆予定者

号	テーマ	担当（敬称略）
1	2023.4 白血球	井上暢子
2	2023.5 ヘモグロビン	福地邦彦
3	2023.6 血小板	井上暢子
4	2023.7 凝固検査（PT・APTT）	信岡祐彦
5	2023.8 TP・ALB	千葉泰彦
6	2023.9 AST・ALT	後藤和人
7	2023.10 γGT、ALP	五十嵐岳
8	2023.11 ビリルビン	出居真由美
9	2023.12 コリンエステラーゼ	堀内裕紀
10	2024.1 LD	盛田俊介
11	2024.2 腎臓の検査（BUN・Cr）	後藤和人
12	2024.3 血糖の検査（BS、HbA1c）	三宅紀子
13	2024.4 脂質検査（TC、TG、HDL、LDL）	吉田 博
14	2024.5 甲状腺の検査（TSH、FT3、FT4）	平山 哲
15	2024.6 AMY	出居真由美
16	2024.7 CK	盛田俊介
17	2024.8 電解質（Na、K、Ca）	福地邦彦
18	2024.9 CRP	三枝 淳
19	2024.10 尿検査（定性検査）	岩津 好隆
20	2024.11 心電図検査①（虚血性心疾患）	信岡祐彦

21	2024.12	心電図検査②（不整脈）	赤坂 和美
22	2025.1	腫瘍マーカー：CEA	松本 剛
23	2025.2	腫瘍マーカー：CA19-9	涌井昌俊
24	2025.3	腫瘍マーカー：PSA	安原 勉

4. JACLaP WIRE 担当 福地邦彦

新規掲載項目は東條先生から情報提供を受け、No. 269 を発行した。

No.264（2023年2月9日 発刊）【新規掲載項目】

1. D012 感染症免疫学的検査 区分：E1（既存）SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出
ラピッドテスト FLU&SARS-CoV-2（積水メディカル株式会社）
2. D012 感染症免疫学的検査 区分：E3（新項目）SARS-CoV-2・RSウイルス抗原同時検出
ラピッドテスト RSV&SARS-CoV-2（積水メディカル株式会社）
3. D006-3 BCR-ABL1 区分：E3（改良項目）Major BCR-ABL1（mRNA 定量）
Major BCR-ABL mRNA 測定キット「オーツカ」（大塚製薬株式会社）
4. D012 感染症免疫学的検査 区分：E1（既存）SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）抗原検出（定性）
Vトラスト SARS-CoV-2Ag（ニプロ株式会社）
5. D012 感染症免疫学的検査（22） 区分：E1（既存項目）SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）抗原検出
クイックチェイサー® Auto SARS-CoV-2（株式会社ミズホメディー）
富士ドライケム IMMUNO AG カートリッジ COVID-19 Ag（株式会社ミズホメディー）
6. D012 感染症免疫学的検査 区分：E1（既存）SARS-COV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出
（定性）
SARS-CoV-2 & Flu A/B ラピッド抗原テスト（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社）
7. D012 感染症免疫学的検査 区分：E1（既存）SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出
（定性）
GLINE-SARS-CoV-2&FluA+B キット（株式会社医学生物学研究所）
8. E3（既存）ミスマッチ修復タンパク免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製
ベンタナ OptiView MLH1（M1） ベンタナ OptiView PMS2（A16-4） ベンタナ OptiView MSH2
（G219-1129）
ベンタナ OptiView MSH6（SP93）（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社）
9. D023 微生物核酸同定・定量検査 区分：E1（既存）SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）核酸検出
コバス Liat SARS-CoV-2（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社）

5. 検査専門医会要覧 福地、事務局

1. 沿革（メ谷直人理事長）
2. 会員名簿

3. 賛助会員連絡先等の校正 10月1日現在として確定。

4. 専門医制度（山田俊幸副理事長）

機構認定、更新、学会認定の更新

基幹施設一覧

3月中に完成し、郵便にて発送する予定。

以上

2022年度 第8回理事会 教育研修委員会 活動報告

2022年度活動報告(2022年11月以降)

4) シンポジウム「地域社会を広げる臨床検査専門医の多様性」を開催

第69回日本臨床検査医学会学術集会 宇都宮 11月19日(土曜日) 14:40~16:40

座長: 涌井 昌俊(慶應義塾大学)

朝比奈 彩(静岡赤十字病院)

講演: 「専門性を高め、診療に貢献できる医師をめざして ~ワークライフバランスとの闘い~」

河端奈穂子(旭川医科大学)

「病院広報誌『しろくまニュースレター』編集長のお仕事」

小木曾嘉文(長野県立こども病院)

「臨床検査のビックデータ応用」

西村 邦宏(国立循環器病研究センター)

「一般病院における臨床検査専門医の地域医療活動」

今福 裕司(浅間総合病院)

2023年度活動予定

1) 日本臨床検査専門医会 第2回年次大会 6月23-24日, 東京にて

生涯教育講演会 (6月23日)【共通講習:地域医療 1単位、医療制度と法律 1単位】

14時30分 -16時50分

講演:米川 修 先生(聖隷浜松病院)

佐守 友博 先生(明和病院)

2) 2023年度 教育セミナー(オンデマンド配信期間:5/18(木)~30(火))

講師名簿(敬称略)

科目	氏名	所属先
(1) 一般臨床検査学	三宅 一徳	順天堂大学医療科学部
(2) 臨床化学・免疫学	蔵野 信	東京大学医学部附属病院
(3) 臨床血液学	増田 亜希子	虎の門病院分院
(4) 臨床微生物学	上原 由紀	藤田医科大学病院
(5) 輸血学	田中 朝志	東京医科大学八王子医療センター
(6) 遺伝子検査学	中谷 中	伊賀市立上野総合市民病院
(7) 臨床生理学	諏訪部 章	岩手医科大学医学部
(8) 臨床検査診断特性評価	出居 真由美	順天堂大学医学部
(9) 臨床検査室管理総論・精度管理	佐藤 尚武	順天堂大学医学部
(10) 昨年度専門医試験合格者体験談	清水 直美	東邦大学医療センター佐倉病院
	東 貞行	鹿児島大学病院

4月3日より、受講者募集予定:会員限定(研修医、大学院等例外あり) 定員数無

2023 年度日本臨床検査専門医会教育セミナー プログラム

(1) 一般臨床検査学

順天堂大学医学部医療科学部 臨床検査学科

三宅 一徳 医師

(2) 臨床化学・免疫学

東京大学医学部附属病院 検査部

蔵野 信 医師

(3) 臨床血液学

虎の門病院分院 臨床検査部

増田 亜希子 医師

(4) 臨床微生物学

藤田医科大学病院 感染症科

上原 由紀 医師

(5) 輸血学

東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科

田中 朝志 医師

(6) 遺伝子検査学

伊賀市立上野総合市民病院

中谷 中 医師

(7) 臨床生理学

岩手医科大学医学部 臨床検査医学講座

諏訪部 章 医師

(8) 臨床検査診断特性評価

順天堂大学医学部 臨床検査医学講座

出居 真由美 医師

(9) 臨床検査室管理総論・精度管理

順天堂大学医学部 臨床検査医学講座

佐藤 尚武 医師

(10) 昨年度専門医試験合格者体験談

東邦大学医療センター佐倉病院 血液内科

清水 直美 医師

鹿児島大学病院 検査部

東 貞行 医師

以上



一般社団法人 日本臨床検査専門医会

2023年度 教育セミナーのご案内

2023年度日本臨床検査専門医会教育セミナーを下記の要領で開催いたします。
参加希望者は下記に従い申し込みをしてください。
期限を過ぎてのお申し込みは受付いたしかねますことを予めご了承ください。

～日本臨床検査専門医会 2023年度教育セミナー（オンデマンド配信）～

本セミナーは主に、臨床検査専門医に必要な知識・技術をこれから習得していこうとする方へのガイドを提供するものですが、ブラッシュアップを目的として受講される方も歓迎いたします。

実施期間(配信期間)：2023年5月18日(木)～5月30日(火)

受講者募集期間：2023年4月3日(月)～5月12日(金)

(参加申込みに際しては下記注意事項をご確認ください)

内容: **講義** 一般臨床検査学／臨床化学・免疫学／臨床血液学／臨床微生物学／輸血学／
遺伝子検査学／臨床生理学／臨床検査診断特性評価／臨床検査室管理総論・精度管理
*事前に各講義の資料を送付します(各自 URL よりダウンロード)。
*臨床微生物学検査、輸血学検査には、実技デモンストレーションの動画を配信いたします。

★詳細は申込者にご案内いたします。

参加費 8,000円

申込方法

- ① HP上の参加申込フォームでお申し込みください。申込内容のコピーが指定したアドレスにメールで送信されます。
ご不明な点は事務局にお問い合わせください(メールアドレス：senmon-i@jaclap.org)。
- ② 参加費の振り込みをお願いいたします：参加申込受付後に振込先をお知らせいたします。

注意事項

※本セミナーは日本臨床検査専門医会会員のみ受講が可能です。非会員の方は、入会手続きをとってからお申し込みください。但し、学生、初期研修生は、非会員の方も受講可能です。
入会手続き方法はメール等でお問い合わせいただくか、当会ホームページ「入会方法」をご覧ください。
トップ画面 ⇒ 事業案内 ⇒ 臨床検査専門医 ⇒ 入会方法 (<https://jaclap.org/service/ga>)
入会申し込みと同時に教育セミナーに参加申し込みしていただくことも可能です。

※全ての講義を受講された受講者には、日本臨床検査専門医会から参加証明書を交付します。
(機構専門医研修プログラム整備基準：2. 研修方法 ②臨床現場を離れた学習) (1)に該当
視聴後、証明書発行希望者には視聴確認用テストを配布いたします(別途ご案内いたします)。

以上

資格審査・規定改定委員会より（2022年11月17日以降）

報告事項

前回の理事会以降4名の入会希望者について審査を行い、委員会としては承認、理事長に承認依頼した。

1. 山澤 稚子 慶應義塾大学医学部 臨床検査医学
2. 三ツ橋 雄之 慶應義塾大学医学部 臨床検査医学
3. 福島 理文 順天堂大学医学部 臨床検査科
4. 井上 政弥 島根大学医学部附属病院 輸血部

【専門医会広報ネットワーク運営委員会 2023.03.04】

▶ 2022年より3部門体制運営

- a. レジデントノート部門 部門長：後藤和人（東海）
- b. ネットワーク BBS 部門 部門長：眞鍋明広（福山市民）
- c. イベント部門 部門長（振興協議会広報委員兼任）：尾崎敬（和歌山紀南）

【会務報告】

1. 羊土社レジデントノート「検査の Tips」連載

- ▶ 2023年で連載7年目、2023/4月号で連載73回に到達
- ▶ 後藤先生（東海大）のシリーズ編集就任（共同編集）
- ▶ ご執筆いただける方を募集中、御連絡ください

2. 専門医会ネットワーク掲示板（「専門医会ネットワーク BBS」と呼称）

- ▶ 2020年に使用した SARS-COV-2 掲示板のブラッシュアップ版
- ▶ 臨床検査の日常的な疑問を掲示板上でシェア、検査医の知識共有に役立てる目的
- ▶ 眞鍋先生主導にて運用開始
- ▶ 疑問書込、解答、アクセスをお願いいたします（ID:jaclap, PASS:senmoni）

3. 11月11日記念日つなぎ委員会

- ▶ イベント委員 山口先生（兵庫会登録衛生検査センター）を中心に企画運営
- ▶ 2023年度は、ピップ、やおきん、マルタイ、すみだ水族館と企画
- ▶ りんしょう犬さんの新しいキャラクターグッズを4種類制作、Twitterでエントリーされた11月11日11名にプレゼント
- ▶ アクセス解析

11月11日つなぎ委員会の Twitter では、10月1日～11月11日までの土日祝を専門医会が担当した。ツイートインプレッション数は、約40日間で100

万件と影響力が大きかった。この期間、専門医会ホームページの閲覧数は1,000～1,200PV/dayとやや伸びにかけた印象はあるが、専門医会がUPした

Twitter にアップした記事のインプレッション数は1,000～5,000と多い日にはHP閲覧数の4倍が得られており、広報活動として一定の効果があつた

- ▶ 関連団体における本活動周知不足

医学会、専門医会、技師会等の関連団体において Twitter リツイート等の拡がりがない。本活動は Google 検索最上位に表示されており、来年度以降は各団体から本活動への御協力を仰ぎたい

- ▶ 他社4社は合同で別企画も実施

11月11日に記念日を制定する異業種企業が異色芸人コンビとコラボし（吉本芸人と各社代表者がコラボ（1社10万円負担））、1111個の商品を11人にプレゼントする企画を行った

4. 新連載 研修医通 2023「Q&A で学ぶ診療のコツ」 / 中外製薬、羊土社

- ▶ 下先生（東葛）からの御紹介で五十嵐執筆
- ▶ 臨くん（研修医）とりんしょう犬さん先生（指導医）の対話形式
- ▶ Webにて年4回（腹部 Xp、ESBL、内視鏡、マクロ CK）連載予定

以上

渉外委員会報告（2023年3月4日）

1. 第40回臨床検査振興セミナー 企画（案）

オンデマンド形式（2023年7月20日ころの2週間配信）で開催

内容

1. 開会挨拶 会長

2. 講演1 （仮）ISO 15189 これまでとこれから （専門医機構臨床検査領域講習会とする予定）

講師：積水メディカル 検査事業部 国内営業部

営業推進室 ラボクリエイトグループ

人見 博也

3. 講演2 人由来試料の利用－英国の経験からいえること （専門医機構共通講習会とする予定）

講師：東京学芸大学 准教授

日本臨床検査医学会倫理委員会外部委員

佐藤 雄一郎

4. 閉会挨拶 副会長

昨年の日本臨床検査専門医会第1回年次大会時の生涯教育講演会では、専門医機構共通講習会とする場合、日本臨床検査医学会との共催が望ましいとの指導があったと聞いています。同様に対応してよいか、ご指示いただければと思います。

2. 全国検査と健康展について

2023年度も日本臨床衛生検査技師会と協力して実施していただければと思います。

保険点数委員会（松下一之）

委員会開催（臨床検査医学会臨床検査点数委員会と合同）：

第1回委員会：7月13日（WEB開催）

1. 令和6年の改訂に向けた活動計画。

1)2024年度改定に向けての、提案書作成の準備（今年度末頃）。

2)新規の保険点数の要望項目のアンケート。

3)以下の報告書と提案書を作成の準備。

令和6年度医療技術評価報告書作成（今回から始まった新しいもの）

令和4年度の診療報酬改定で増点あるいは新規の要望が認められた16項目

令和6年度医療技術評価提案書作成（28項目）

2. 2024年度診療報酬改定に向けた活動

- ・日本臨床検査振興協議会への参加：診療報酬改定小委員会が3回開催された（第1回2022年7月13日、第2回10月3日、第3回11月1日）。

<検査医学会/専門医会への調査依頼事項>

- 蛋白分画：院内検査と外部委託検査の実施割合を確認。
- DIRA法の詳細。
- 削除項目のインパクト調査（関連臨床学会への確認）
- 造血器腫瘍遺伝子検査：注において、検査実施施設の要件が設定された経緯を確認
- 染色体検査。検査実施施設の要件が設定された経緯を確認
- 院内におけるT/Nがん遺伝子パネル検査の増点要望(44000点から56000点)。

2023 年度(2023 年 4 月-2023 年 3 月)

日本臨床検査専門医会年間行事予定表(案) (2023 年 2 月 1 日現在)

日 時	内 容	開催場所	担当責任者
4 - 5 月 5 月 18 日-30 日 6 月 23 日~24 日	第 1 回理事会：決算・総会招集 第 92 回教育セミナー(オンデマンド) 第 2 回年次大会 第 2 回理事会 (旧理事) 社員総会：決算承認・理事の選任 第 3 回理事会 (新理事) 社員総会 (続き) / または新役員報告 生涯教育講演会	昭和大学	庶務 教育研修委員長 木村 会長 庶務 庶務 庶務 庶務 教育研修委員長
7 月	第 39 回臨床検査振興セミナー		渉外委員長
9 月	第 4 回理事会	Zoom 会議	庶務
11 月 11 日	臨床検査の日 全国検査と健康展		渉外委員長
11 月 16 日~17 日 16 日 (時刻は未確定) 16 日 (時刻は未確定)	第 70 回日本臨床検査医学会学術集会 第 5 回理事会 臨時社員総会・講演会 共催セミナー	長崎	庶務 庶務 教育研修委員長
2024 年 3 月	第 6 回理事会	Zoom 会議	庶務

2023年度 予算
2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

		項目	2023年度予算額	2022年度予算額	増減
収入欄	会費	会員会費	4,960,000	5,455,000	▲ 495,000
		賛助会員会費・寄付金	2,900,000	3,000,000	▲ 100,000
		小計	7,860,000	8,455,000	▲ 595,000
	その他入金	広告収入	240,000	440,000	▲ 200,000
		教育セミナー参加費	400,000	280,000	120,000
		生涯教育講演会参加費	440,000	0	440,000
		振興セミナー参加費	0	0	0
		年次大会収入	2,050,000	2,050,000	0
		利息	1,000	1,000	0
		雑収入	11,000	0	11,000
小計		3,142,000	2,771,000	371,000	
入金合計		11,002,000	11,226,000	▲ 224,000	
支出欄	庶務経費	事務所維持費	1,832,000	1,738,000	94,000
		人件費	2,100,000	2,100,000	0
		設備費	8,000	10,000	▲ 2,000
		電話・FAX使用料	54,000	60,000	▲ 6,000
		通信費(事務局)	200,000	210,000	▲ 10,000
		顧問料	385,000	462,000	▲ 77,000
		事務局雑費	72,000	135,000	▲ 63,000
		小計	4,651,000	4,715,000	▲ 64,000
	事業経費	印刷代	830,000	600,000	230,000
		要覧印刷代	0	500,000	▲ 500,000
		通信費	720,000	400,000	320,000
		年次大会費	2,550,000	2,550,000	0
		臨床検査振興セミナー費	300,000	424,000	▲ 124,000
		教育研修事業費	350,000	390,000	▲ 40,000
		会議費	240,000	200,000	40,000
		交通費	80,000	80,000	0
		宿泊費	30,000	30,000	0
		原稿料	0	0	0
		専門医会ネットワーク維持費	0	220,000	▲ 220,000
		HP維持費	396,000	330,000	66,000
		会員管理委託費	121,000	132,000	▲ 11,000
		広報ネットワーク委員会関連費用	50,000	50,000	0
		JCCLS会費	50,000	50,000	0
		WASPALM会費	64,000	55,000	9,000
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0
		内保連	200,000	200,000	0
		雑費	0	0	0
		小計	6,281,000	6,511,000	▲ 230,000
		出金合計		10,932,000	11,226,000
税引前収支		70,000	0	70,000	
法人税等		70,000	0	70,000	
税引後収支		0	0	0	

【第2回日本臨床検査専門医会年次大会に係る審議事項】

1. 参加登録料について

- ① 生涯教育講習 2,000 円/大会参加費 5,000 円

合わせて一律 7,000 円としてもよいか

(参加費 5,000 円については、開催地の関係もあり、昨年より 2,000 円 UP でよいか)

- ② 非会員と会員の参加費に差をつけてもよいか

- ③ 賛助会員に向けて、告知をしてもよいか

(今回は東京開催であり、東京に本社を置く賛助会社が多いため、特典として提案、
賛助会費請求書送付状に記載、およびチラシを封入)

文例) 特に 2 日目の演題は遺伝子の基礎的な話を聞くことができるため、

貴社 1 名まで無料で参加可能、それ以外の方も通常会員価格で参加可能です

2. 懇親会の開催について

4 月以降の状況判断とはなるが、開催を検討すべきかどうか